

ポッポの家 園舎建替え工事

現場説明書

社会福祉法人 おひさま

特 記 事 項

この工事は昨年10月1日施行された「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」に則った、公共建築物等にあたる保育所の園舎建替え工事である。
低層公共建築物の積極的な木造化を図るという、この法律の意図により、地域材を積極的に活用することで、林業の再生や森林の適正な整備、地球温暖化の防止等に貢献することはもちろん、地域全体の活性化と園児の安全で健やかな園生活に寄与することを基本理念としている。

社会福祉法人おひさま ポッポの家 は1982（昭和57）年1月の無認可保育園（園児2名）としての開園以来、園児一人ひとりを大切に、温かく・心豊かな保育を実践している。
旧園舎は小さな軽量鉄骨の園舎から始まり、ログハウスを増築以後、園児の増加に伴い増築・改築を繰り返し、2003年（平成15年）医務室・事務室等の認可保育園に向けての増改築工事を実施し、同年4月60名定員の認可保育園として現在に至っている。

本工事の園舎における保育概要は下記の通りである
 保育園児定員 80名（最大100名）
 保育対象 0歳児から5歳児（就学前）まで
 職 員 保母18名 給食用スタッフ2名
 保育時間 通 常 月曜日～ 金曜日 午前7時30分～午後6時30分
 土曜日 午前8時～午後5時（給食あります）
 延 長 月曜日～ 金曜日 午後6時30分～午後7時

2009（平成21）年の社会福祉法人おひさまとしての法人化に当たり、園で決定した保育目標は「『すこやかな体・しなやかな心・育ち合うつながり』をはぐくむ」というものである
特に こどもたちが、安心して過ごせるくつろいだ雰囲気の中での保育を心がけており、木のぬくもりの中で園児が生活できることを、園長先生以下、園関係者の強い希望のもとに、地域材を使用した木造2階建ての園舎を計画するに至った。

地域材の調達・流通・品質管理については「山梨県木造住宅協会／材木流通・品質管理計画書」に則り、使用木材は下記の通りとする

- ① 構造材：県産木材
- ② 下地材：国産材
- ③ 造作材・内装材：国産材

1. 安全確保に関する事項

① 園児の安全を確保するための配慮を第一とする

本工事は保育所の園舎建替え工事であり、道路を挟んだ土地に建設された仮園舎で園児が生活するという環境にある。そのため、園児が工事現場に近づくこと等で起こる危険な事態が多く想定できる。工事請負者はこれらの事態に対して、危険を回避し安全に対する処置をとることを第一とする

例えば、コンクリート打設時の誘導員の配置など、それらの危険を回避することに最大限の配慮をする。

② 園児の登園・降園ピーク時における工事車両の出入りについて

午前8時から9時・午後5時から6時は園児の登園・降園のための送迎車が最も多い時間帯となる。園児や父母の安全やスムーズな送迎を確保するため、この時間帯の工事車両の出入りは原則として控えるものし、避けられない場合の出入りにおいては最大限の注意を払うこと

③ 園の行事に対しての配慮

園で行なう散歩等の日常的な行事や定期的、また非定期に行なわれる遠足や運動会、また工事現場の見学会等の行事に協力し、その際は園児の安全に最大限の配慮をすること

2. 一般事項

① 工事は契約期間内に諸官庁への届出および検査を完了し引き渡し出来るものとする。

② 契約締結後、速やかに工程表、現場代理人届け、協力業者名簿を提出する。

③ 使用する主要材料並びに監督員の指示する資材等については、メーカーリストを提出して、監督員の承諾を得る。

④ 使用する主要資材および機器等について、監督員の指示するものは、製作図面を提出して、工事管理者の承諾を得る。

⑤ 工事部分払い請求書には、進捗状況写真及び出来高調書を添付する。

⑥ 進捗状況報告書は、毎月末日状況を写真添付の上、翌月5日までに提出する。

⑦ 請負者は、安全管理を徹底し、近隣住民および建物関係者に迷惑を及ぼしてはならない。又、重車両等の通行による道路の損傷、公害防止条例等の違反、火災の原因となる事項等に対しては、事前に対策を講じる。

⑧ 請負者は、床掘り・型枠・鉄筋・木造軸組・配管完工時等の主要工程（特に隠蔽部）について、事前に自主検査を行い報告の上、監督員の検査を受ける。

⑨ 工事施工上必要な諸官庁への届出および手続きは、請負者の責任において遅滞なく行なうものとする。

⑩ 関連諸工事がある場合は、各工事関係者と打合せ調整の上、遺漏無きよう円滑な工事の進捗を計る。

- ⑪ 施工中に実施する各試験検査には、監督員の立会を受ける。
- ⑫ 外構工事を含む建築図・設備図（電気・機械・衛生）の整合図を作成し、監督員の承諾を受けて、工事の円滑な進捗と遺漏無き施工を行う。
- ⑬ 設計図書の優先順位は、下記による。
 - 1. 現場指示書・現場指示図 2. 現場説明書 3. 特記仕様書
 - 4. 設計図書 5. 木造建築工事標準仕様書（公共建築工事）
- ⑭ 現場指示書・現場指示図により請負金額に増減が発生する場合は、必ず事前に申し出ること
- ⑮ 標準仕様書の適用基準は、当該年度の最新版とする。
- ⑯ 請負者は、工事期間中において適正額の火災保険に加入する。
- ⑰ 請負者は、工事管理に関する下記の書類を作成、整備して提出する。
 - 1. 現場代理人届・主任技術者届・協力業者名簿・着工届・工事工程表
 - 2. 工事目的物火災保険加入証
 - 3. 主要材料品質証明書・各種試験結果報告書・各種試験記録書
コンクリート配合計画書・特殊材料規格証明書・使用材料メーカー一覧表
 - 4. 工事施工管理日誌・工事打合せ記録
 - 5. 部分払い金請求書（回数分）
 - 6. 完成届・手直し完了届・工事目的物引渡書・工事記録写真・竣工写真
 - 7. 各種機能検査結果表（電力絶縁・水圧試験・空圧試験等）
 - 8. 竣工図・施工図（一括製本）
 - 9. その他監督員の指示によるもの
- ⑱ 工事期間中に行われる、見学会等については安全に配慮し、積極的に協力する
- ⑲ 工事は午前8時から午後6時までとし、日曜日の工事は実施しない
- ⑳ 現場乗り入れについては園舎北側に車両3台分を確保する。それ以上の駐車場所については請負者の責任で確保するものとする

3. 施工上必要な図書の提出

- A 施工上必要な図書（施工図・工作図・製作要領書等）は、事前に作成し工事管理者が確認の上、監督員の承諾を得る。
提出時期については施工10日前とする。工事に支障のないよう、施工図提出工程表を別途作成し、提出期限を厳守すること
- B 提出施工図
 - ① 基礎伏せ図等、基礎工事に必要とされる施工図
 - ② プレカット図
建具・家具詳細図等 木工事に必要とされる施工図
 - ③ 衛生設備・機械設備・換気設備工事に必要とされる施工図
 - ④ 電気設備工事に必要とされる施工図
 - ⑤ その他 監督員が必要とする施工図

3. 各工事について

A 仮設工事

- ① 着工前に敷地現状調査（標準貫入試験）及び測量（高低・辺長測定）を実施し報告書を提出し、設計地盤高および基礎盤並びに位置の設定にあたり、監督員の承認を受ける。
- ② 仮設水道は、既設配管の既設メーターにて清算払いとする。
- ③ 道路または隣地に対する安全措置の検討、実施。

B 土工事

- ① 残土は、場内処分を原則とし、処分できないものについては敷地内に仮置きの上、道路を挟んだ仮設園舎後に移動する
- ② 機械掘りによる根伐りは、床付け10cm上までとし、底盤部調整は人力施工とする。
- ③ 埋め戻しおよび盛り土は、根伐り土のうち良質土を流用することとし、建物周辺の埋め戻しは入念に転圧施工する。

C 鉄筋工事

- ① 定着、継ぎ手、かぶり、壁、スラブ、増し打ち等の補強鉄筋は、コンクリート充填性に留意し入念に施工する。詳細は木質構造標準図による。
- ② 鉄筋材の保管について十分に注意して防錆管理を計る。
過度の発錆は再施工指示の対象となる。
- ③ 各種試験および検査は、監督員立ち会いのもとに行い、指摘事項は速やかに是正する。

D 型枠・コンクリート工事

- ① 型枠存置期間は、木質構造標準図（1）による。
- ② コンクリート打設については、コールドジョイント・豆板等の発生無きよう入念に施工する。（生コンクリートの打設時間、間隔等）

E 木工事

- ① 使用木材は県産材を使用し、プレカット製作工場が製作する場合は、外観検査を行い、工事監督員の承諾を受ける。
- ② 構造材及び下地材となる木材は、継手及び定着部は、作用する力を伝達出来るものであること。また、床にあっては、床鳴りが生じなきよう施工する。

F 建具工事

- ① アルミサッシ等建具の取付位置等について事前に協議検討する。

G 屋根・樋工事

- ① 取付金物、材質等、十分に検討して不備無きよう施工する。

H 内・外装工事

- ① 水切り納まり、出隅部材等に留意して施工する。
- ② 左官工事・塗装工事の下地処理は不陸等が生じないように念入りに施工する

I 電気設備工事

- ① 地中に設けるさや管は、塩ビ製とし、止水処理を行う。
地中埋設テープは、管長の1.3倍の重ねを取り、規定の深さに埋設する。
- ② 竣工時に引き渡し申し送り書を作成しアフターケアの手順を明確にする。

J 機械設備工事

- ① 各種試験及び検査は監督員立ち会いのもと行い、指摘事項は速やかに是正し文書をもって報告する。
- ② 地中に設けるさや管は、塩ビ製とし、止水処理を行う。
地中埋設テープは、管長の1.3倍の重ねを取り、規定の深さに埋設する。
- ③ 防火区画貫通部、エキスパンジョイント部は全て監督員の検査を受け全ヶ所写真撮影を行う。
- ④ 竣工時に引き渡し申し送り書を作成しアフターケアの手順を明確にする。

4. その他

- ① 「質疑・回答書」は、別に添付する書式による。
- ② 質問の受付は、設計図書配布開始の翌日から、「平成23年11月14日午後1時まで」とし、社会福祉法人おひさま ポップの家まで提出する。FAX XXXXXXXXXX
- ③ 質問の回答は、平成23年11月17日の午後5時までに入札者参加者すべてに対しFAXにて送付する。
- ④ 質問無き場合でも「質問なし」の旨を記入し、FAX送付済みであっても原本を入札時に提出する。

上記特記事項は、該当項目につき適用する。
